毎月一回15日
定価 1部5円
発行所
中里村公民館

現在人口

男	4,512
女	4,525
計	9,037
世帯数	1,710

第三回 村議会定例会

収入役教育委員の選任
追加更正千二百万円決る

第三回中里村議会定例会は去る九月二十八日招集され、さらに会期を延長して十月十一、十二日の三日間の日程で開かれ、収入役、教育委員、公平委員、固定資産評価委員などの選任同意、中里村税条例などの一部改正、田沢中学校寄宿舎増築工事関係、昭和三十八年度発生災害復旧事業関係、昭和三十八年度才入才出追加更正予算、昭和三十七年度才入才出決算など議案二四件、認定事項七件、報告事項二件の付議事件を審議した。付議事件の主な内容は次のとおり。

▽収入役の任命については、広田収入役の任期満了に伴なう人事であるが、村財政諸般の情勢から財政運営に多年の経験がある同氏が再び選任された。

▽教育委員は任期満了となった阿部一郎氏（新屋敷）再任

▽公平委員に桑原亀平氏（倉俣）

▽固定資産評価委員に村山正也氏（宮中）がそれぞれ選任され村議会の同意が得られ、十月一日付で任命されることになった。

▽村税条例の一部改正については、地方税法の改正に伴なうもので、災害等による税の納入期限の延長、延滞加算金の基準額の改正、徴税令書の呼称の改正、軽自動車及び小型特殊自動車の規定改正などであるが詳細は省略▽中里村国民健康保険条例の一部改正については、主として低額所得者に対する減税のための条例改正である。

▽田沢中学校寄宿舎増築事業関係については、百六十万円の起債と二事請負契約の締結、増築にかゝる敷地の取得などについて審議決定された。

▽現年度発生災害復旧事業関係については、白羽毛水路九百八十米復旧工事にかゝる事業費の一部百十万円の起債を決定。

▽昭和三十八年度追加更正予算については、今年度第四に当てあるが、総額千一百七十一万二千四百円となっており、これによって中里村予算は一億一千七百万円の大台を突破することになった。今回の追加更正予算の主なるものは次のとおり。

役場費八十四万五百円、土木費百三十九万六千円、教育費二百四十七万三千三百円、社会労働施設費七十二万七千五百円、産業経済費五百四十四万四千二百円、その他省略。

▽昭和三十七年度才入才出決算については、一般会計一億一千二百九十九万八千円、特別会計が国保事業勘定一千七百八十五万四千円、同施設勘定三百三十三万一千円、農業共済事業五百七万円、簡易水道事業五百三十三万五千円、育英事業五十九万五千円、貝野小、中学校組合五百三十一万九千円となり、監査委員から検査報告がおこなわれた後、異議なく承認された。

中里村総合文化祭
十一月三日に

来る十一月三日"文化の日"の行事として、今年も恒例中里村文化祭が公民館、産業建設課、社会課"青年"、商工会の"会"により多彩に催されることになりました。村民の皆さん多勢がご参観いただきたくお知らせいたします。

▽期日△

十一月三日午前八時より午後三時半まで。一日限り

▽会場△

田沢小学校　田沢中学校

▽種目△

◎文化芸術展（書道展、絵画展、俳句展、写真展、生花展、手芸展、魚拓展、下手物展、神楽公開）

◎産業物産展

◎生活改善。保健衛生展

◎商工祭

なお公民館では、次のとおり作品募集をおこなっておりますので、多数ご応募下さるようお願いします。

▽書道△題書体自由、半紙又は条幅いずれでも可

▽絵画△題材自由、大きさ四ツ切り以上

▽俳句△秋季雑詠、一人三句

▽写真△題自由、大きさ四ツ切り以上

▽手芸生花△出品自由

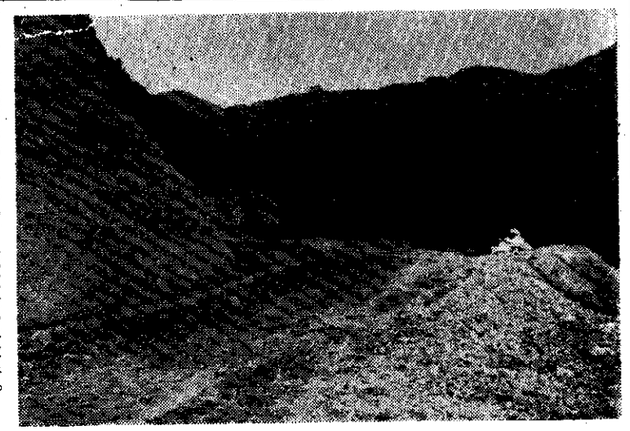
▽魚拓下手物△出品自由

▽〆切△

十月二十八日午後五時まで（手芸生花は除く）

▽出品先△

公民館文化祭係あて、出品物には必ず住所氏名年令を明記して下さい。出品者には粗品を呈上いたします。



十二線工事
自衛隊帰る

清津の清流を右眼下に見おろす春沢部落の入口あたりから、幅員六・五㍍、平均五パーセント勾配（百米で五米あがる）の新しい道路が、通称低沢に沿って山襞を右に左にカーブを描きながら、十二峠に向ってのびる。ここ十二線工事現場では、自衛隊のブルトーザによって切り開かれた荒削りの道を真土木出張所の手によりノリ切り、側溝、路面仕上げなどが急ピッチでおこなわれている。

昨年から本格的に再開されたこの工事も、すでに延長二千米に近い道路が出来上がった。工事の主力となった自衛隊のブルトーザの活躍振りにはまったく驚く。さすがは機械力だ。すでに今年の作業予定を完了した自衛隊十二峠作業隊（坂井一等陸尉以下四十七名）は、先月下旬高田の本隊に引き揚げた。三ヵ月に亘る暑い夏の間、真黒に日焼けしたたくましいからだで、水成岩や凝灰岩の固い岩肌に危険を冒かしての困難な作業で、ほんとにご苦労様でした。

倉下地内でトンネルになる地点まではまだ千九百米余りあるとゝく。まだ〜十二峠開きは固い。いよ〜十二峠開きの難所にさしかゝるのであろうが、完成の暁には、主要地方道として産業の面、観光の面でその価値は無限に期待されている。それにもまして上倉、倉下部落の人たちのよろこびは一しお大きいであろう。

【写真は山襞に沿って美しくカーブする新道路】

高橋産業建設課長急逝

役場の産業建設課長高橋又平さんは、去る十月十一日開かれた第三回定例村議会に出席し、同課の所管にかかる提出議案の説明をおわってまもなく脳出血で倒れ、意識不明昏睡状態のまま午後八時過ぎついに役場で不帰の人となってしまった。

村行政の執行機関にあって、産業、建設関係の重要業務の担当者として、あるいは身体の不調を予期しながらも、なお強い責任感から議会に臨んだ高橋課長さんの急逝は、まことに悲痛なかなしみであり、行政事務の完全遂行にその敏腕が期待されていただけに、惜しみても惜しみてもあまりあるものがある。

高橋さんは、昭和七年旧貝野村役場に入り、十三年から終戦まで軍隊に応召されたり、青年学校指導員として活躍した。戦後二十一年から再び同村役場に勤め、農地委員会事務局書記として農地改革の難事業の処理にあたってきた。さらに土木、産業、新地、地籍などの係を担当し、同村役場の中堅職員として行政事務の遂行に大きな役割を果してきた。昭和三十一年中里村に合併してからも、卓越した識見と、優れた専門的技術をもって産業振興に土木事業の遂行に意欲的にとりくみ、産業建設課長として中里村の産業開発の大構想を描きつつ豊かな村づくりの方途を求めて日々の仕事に熱情を注いできた。

村人からは、高橋課長よりも皆様の"高橋屋さん"でだれからも気やすく相談をもちかけられ、信頼されてきた。酒盃をかたむければ表情たっぷり浄瑠璃をうなる。この人間味豊かな人柄がつねに人をひきつけずにおかない高橋課長の円満な人格でもあった。

農業の近代化に対処して、構造改善、基盤整備の必要を説き地理的条件を生かした主産地形成と、観光資源の開発に中里村の振興を期待し、郷土をよりよく愛して豊かな村づくりに注いできた高橋さんの熱情は、かならずや村行政にうけつがれて、やがてその構想は実現されるであろう。享年四十九才の働き盛りに、惜しまれつつ逝った故人の霊に、つつしんで追悼の意を奉る。

【写真はありし日の高橋課長】

人生往来

◎誕生

子の名前	父の名	住所
樋口 勝茂	茂一	小原
山本 良子	良治	小出
藤ノ木洋子	勤	小出

◎婚姻

氏名	年令	住所
新郎 渡辺 茂(ママ)朴木沢		
新婦 南雲 カツ(ママ)堀之内		
新郎 吉梁 竜平(ママ)宮中		
新婦 広川 ミイ(ママ)津南町		
新郎 福原 定雄(ママ)津南町		
新婦 山本タケ子(ママ)小出		
新郎 知桐 敏雄(ママ)津南町		
新婦 樋口 キヨ(ママ)西田尻		
新郎 山田 栗作(ママ)清田山		
新婦 小柳 リヨ(ママ)如来寺		
新郎 酒橋 正(ママ)倉俣		
新婦 桑原 コウ(ママ)津南町		

◎昇天

氏名	年令	住所
村山 重(〇)		宮中
広田 喜作	(八三)	干溝
鈴木軍一郎	(五二)	重地
斉藤 国吉	(六九)	下山

文化祭標語
ポスター募集

役場社会厚生課では左記により標語、ポスターを募集いたします。

記

一、募集課題

◎国民健康保険について

◎国民年金について

◎栄養改善について

◎健康について

◎赤い羽根募金について

◎診療所について

◎保育所について

◎虫歯予防について

◎結核予防について

◎保健婦活動について

◎急救車について

◎環境衛生について

二、標語、ポスターの内容

課題について端的に表現したもので解りやすく明るいもの

三、応募資格及び方法

中里村内の中高生徒及び居住者に限る

ハガキ又はそのまゝ展示される用紙を使用する、点数制限なし住所（学校）氏名、職業年令（学年）を明記すること

四、宛先及び〆切

◎中里村役場社会厚生課

◎昭和三十八年十月末日

五、褒賞及び発表

◎入賞作品各三点に村長、議長教育委員長から賞状及び賞品、入選各十点に賞品を呈する

◎発表は十一月三日文化祭会場に展示

保険証は大切に

国保では先頃、世帯主の給付率引きあげのため被保険者証を窓口を通して回収致しましたがその折大変目立ったことは紛失した人、汚ごした人の多かったことです。被保険者証を紛失又は汚ごした場合には、申請すれば無料で再交付出来ることになっていますが、医療機関にかゝる際の大切な証書でありますので、紛失したり、汚ごしたりすることのないように家中の者みんなのわかりやすい所に大切に保管されるように皆さんの御協力をお願い致します。

尚、被保険者証の訂正をされない方は至急国保係の方に提出して訂正印を受けられるようにして下さい。

投稿
嫁のねがい

十人十色ということがありますが、人の気持ほどむづかしいものはないとおもいました。それは"嫁"という名をつけられて痛切に感じさせられることです。どうしてこうも人というものは、他人のことをあゝだこうだとやかくいいたがるのでしょうか。とくに世代のちがう明治生まれのババサたちにはつきあいにくい。時代の流れ、うつりかわりということが、ぜんぜん理解されないのだからときには悲しくさえなってしまう。

何年かのうちには、わたしもそういう姑さんになってしまうのだろうか。理解のある進歩的なババアになりたいとおもってはいるのですが……因習を打ち破ることは容易なことではないこんな山の中の村では、なかなかできないことだとわれとわが身にいいきかせてただうつむいているだけです。

せめて冬のあいだだけでも、婦人学級を開いてもらって、どうしたら明るい民主的な人間関係がつくられるか、住みよい村が生まれるかみんなといっしょに話しあい、勉強しあってみたいとおもいます。ババサ学級もいいと思います。村ぐるみみんなで話し合うそんなことを公民館あたりで音頭をとってやってもらえればいいがなあーとおもっております。これは近所のババサたちに悩まされる嫁としてのささやかなねがいです。

なかさと文芸
（九月投句）

つみなぎを糸の生命やつるし柿　芒月　一声

一枝の色をもぎとる柿しぶし　桂仙

葉末に柿の一群赤く映ゆ　天来子

晩工の音語りや柿の秋　紫紅

熟柿落つ音や遅夜のもらい風呂　大泉

雑が供地感に一つ熟柿　芒月

月あかり雪かと思うそばの花　天来子

雁が峰今日の入日や秋深む　桂山

山椒の摘みて帰りし妻ひとり　一声

吹かれては泥に起伏のコスモスや　紫紅

緋のままに朽ちカンナに落りゝ　紫紅

柿二つ今宵の客の嫁話　紫紅

色の良き柿選り供え仏の日　紫紅

穂枯田の畔豆柿の熟れてあり　天来子

熟れ柿に蜂の集まる日和哉　芒月

導柿や昔と今の姿りよう　紫紅

柿の皮干す老翁の背はまるく　天来子

夜店の灯ふと若き日の想いよぎりける　桂仙

稲刈りの人日輪にかくれけり　一声

澄む水に大日輪の面輪かな

"雪下かんらん"作がらと栽培のコツ

食生活の変化に伴ない、生鮮やさいの需要が増し、西洋やさいをはじめ最近ではかんらんの周年栽培もとりいれられて、各地に産地が生れてきています。積雪を利用して春さきの四月中下旬関東や関西の新ものが市場へ出まわる前に業務用として出荷される雪下かんらんは中魚沼郡市内においても早くからこの栽培法を手がけていました。郡市内では吉田地区や吉田南部地区が作付面積、出荷量等も多く郡市内における栽培の中心をなしております。中里村でも二、三年前から試験的に栽培をはじめ、昨年は或る程度成功されて出荷された方もあったようですが収穫高（反当収量）はあまり高くなかったようにきいております。郡市内でも先進地と言われている吉田地域では前作が馬鈴薯、煙草等がおもで反当平均二、五〇〇㎏内外の収量をあげております。

現在では冬期間の畑作として土地高度利用の面から経営の中にかかせない作目のひとつになっています。中里村でも導入されて本年で三年目になりましょうからそれぞれ試作されてよい成績をあげ自信を得た方もありましょう。また成績があがらず途中でなげ出された方もあったのではないかと思います。

御承知の如くかんらんは寒冷地帯に適する作目のひとつであり しかも栽培は比較的容易で病害虫もすくなく能でも栽培できるものですが、ただ問題は良苗を作りあげることが出来れば或る程度その年の作柄はまず八割成功したものと考えてよいほど育苗技術は大切な仕事であります。

本年は適当に雨にもめぐまれて育苗には条件のよかった年でありますが折角よい苗を作りながら老化苗にして本畑に定植された方があるようでその後の生育を悪くしている方があります。

先般（十月五日）中里農協の江口技師と作柄の状況をみてあるきましたが上山一帯は大変に生育がおくれております。このような生育では増収はのぞめないでしょう。また菌腐の上村さんは水田裏作で大体生育もよく或る程度成功したようです。なおはじめて本年から農協の指導でとりいれた横浦の村山さんは畑作で立派に成功しています。すくなくとも反当二千五百㎏は期待できます。このように作柄はいろいろですが十月五日を中心に雪下かんらんは結球はじめにはいらなければならない（子供の掘りこぶし大）生育をこの程度すすめないと増収はのぞめません。本年要望された方の耕種内容を、一言してすくなくとも中里管内五百アール以上の作付面積と商品出荷量を当面十アールあたり二千五百㎏を目標に栽培技術の安定をはかる必要があります。

特産としてのはすための今後の問題点

1雪に対する技術的問題

◎根雪前完全結球させると翌春寒害をうけやすく反対に五～六分結球程度では収量があがらない。

◎根雪前八～九分結球をすすめると増収はできても融雪後の腐敗の被害が大きく白玉となりやすい。

このように雪下での変形や腐敗をおそれた場合は増収は期待できないので年内に一～二割収穫するくらい生育をすすめ翌春消雪を早めて白玉を防ぎ増収をはかる作型が今のところ一番よいようです。

2、栽培上問題点

郡市内の平均収量は約二、五〇〇㎏程度でこれを四、〇〇〇㎏まで引上げなければならない。そのためにはこの地方の気象に対しての適期播種期と品種の検討が必要ですが書及所での試作研究の結果では次の点があきらかにされています。

A 播種期

結球はじめまでの積算温度は一、八〇〇度から二、〇〇〇度は必要でこの地方では七月十八日から七月二十日までを適期とする。

B 品種

現在雪下かんらんとして有望の長岡交配四季種、晩三号A耐寒大御所の三品種とする。

3、残されている問題

育苗技術の向上をはかり良苗を確保して一〇アール当り四、〇〇〇㎏を生産目標とした安定技術を確立することと平均労力二三人を要している労働力を更に省力化して行く研究をすすめてゆく必要があることです。

農閑期に充分本年の作柄を反省して耕種設計をたて目標収量の達成を期したいものです。

（津南普及所）

準急田沢駅に停車

10月1日から

（既報）十月一日から、国鉄飯山線の列車時刻が一部改正されたが、これにより、準急行野沢号が田沢駅に停車することになった。

この準急は、今年七月から新設され十日町～長野間を運行しているが、これまで田沢駅には止まらず利用に不便となっていたもので、村当局や関係者の長鉄管理局へのはたらきかけがこのほど実現したもの。

なお、準急野沢号の田沢駅発車時間、長野駅到着時間は次のとおり。

▽上り
田沢駅発　八時四十三分
長野駅着　十時三十七分

▽下り
長野駅発　十六時五十四分
田沢駅着　十八時五十六分

これにより野沢、長野方面への旅行、信越線への連絡がいままでよりも、たいへん便利になったわけで、高井田沢駅長さんはせいぜい利用してもらいたいといっている。

【写真は田沢駅に初停車した準急野沢号十月一日撮影】

中里村商工会

公休日毎月三回に

中里村商工会（広田義一会長）では、商店の公休日毎月三回以上の実施と、サービスチケット販売についてアンケートをとるなどして研究をかさねてきましたが、去る九月十六日役員会を開き議論した結果、十月一日から月三回の公休日実施と、サービスチケット販売をとりあげることになりました。

公休日については、これまで月二回（五日、二十五日）実施してきましたが、これを毎月五の日（五日、十五日、二十五日）の三回にしたわけです。商店ご利用いただく皆様の一層のご協力をお願い申上げます。

また、サービスチケット販売については、加盟店会を組織するなど準備期間が必要なので一応十一月十五日から実施することになっていますが、このサービスチケット販売というのは、いま各地の商店街ではやり出しているゴールデンスタンプや、グリーンスタンプ形式のように加盟店が買物に対してサービスチケット券（百円の買物に二円の割合）を提供し、それが一定の金額にたまると商品と引き換えるというしくみです。せいぜいご利用いただくよう期待しております。

—お知らせ—

巡回税務相談

来る十月十七日、午前十時より午後四時まで役場で、関東甲信越国税局新潟税務相談所により、巡回税務相談がおこなわれます。ご利用下さるようお待ちしております。

文化の日を迎えて

"上げ底文化反省"

中里村公民館長　斉藤大馨

窓外を眺めて居ると吹く秋風に庭の樹の色あせた葉がひらひらと大地に落ちて行く。此の季節になると年間を通じて一週間」と名のつく行事が多いが来月三日は文化の日である。そこで少し日頃感じて居ることを秋の夜長つれづれなるまゝに、筆をとって見た。菓子箱等にはよく"上げ底"と云うのがある。この上げ底、最近は、いよいよ以って甚だしくなったようである。箱の大きさと包装の豪華さから見て、中味もさぞかし相当なものだろうと、心中大いに期待をかけて開いて見ると、これは、ソモ、いかに。フタすれすれの辺まで底が上って居て、ひどくキョウシュクさせられることがある。これっポッチの中味をどうしてこんなタイソウな箱に入れるのかと、きびしく詰問したい気持にもかられようというものだ。要するにこれは、中味の乏しさを外観でゴマ化そうというが、するくも亦あさましい魂胆の具体化であること、云うまでもない。外国のことはトクと存ぜぬが、どうやら、この上げ底は"メイド・イン・ジャパン"のものらしく思われてならないがいかがなものか。中味にイツワリありのこの一上げ底」がおみやげもの、菓子類の範囲にだけ、とどまっているのであったら、たいした問題でもないかも知らんが、一事が万事、ということになると、簡単に捨ておくわけにはまいりかねる。卒直に云って、現在の日本は、あらゆる面において、この"上げ底"式の色彩が極めて濃厚なのではなかろうか。今更ことゝ改めて申すまでもないが、民主主義的文化国家として丸腰で起ち上り、生きて来たのである。世人は、ソモ、いかに。フタすれすれの辺まで底が上って居て、ひどくキョウシュクさせられることがある。これっポッチの中味をどうしてこんなタイソウな箱に入れるのかと、きびしく詰問したい気持にもかられようというものだ。要するにこれは、中味の乏しさを外観でゴマ化そうというが、するくも亦あさましい魂胆の具体化であること、云うまでもない。外国のことはトクと存ぜぬが、どうやら、この上げ底は"メイド・イン・ジャパン"のものらしく思われてならないがいかがなものか。中味にイツワリありのこの一上げ底」がおみやげもの、菓子類の範囲にだけ、とどまっているのであったら、たいした問題でもないかも知らんが、一事が万事、ということになると、簡単に捨ておくわけにはまいりかねる。卒直に云って、現在の日本は、あらゆる面において、この"上げ底"式の色彩が極めて濃厚なのではなかろうか。今更ことゝ改めて申すまでもないが、民主主義的文化国家として丸腰で起ち上り、生きて来たのである。世人は、ソモ、いかに。フタすれすれの辺まで底が上って居て、ひどくキョウシュクさせられることがある。これっポッチの中味をどうしてこんなタイソウな箱に入れるのかと、きびしく詰問したい気持にもかられようというものだ。要するにこれは、中味の乏しさを外観でゴマ化そうというが、するくも亦あさましい魂胆の具体化であること、云うまでもない。外国のことはトクと存ぜぬが、どうやら、この上げ底は"メイド・イン・ジャパン"のものらしく思われてならないがいかがなものか。中味にイツワリありのこの一上げ底」がおみやげもの、菓子類の範囲にだけ、とどまっているのであったら、たいした問題でもないかも知らんが、一事が万事、ということになると、簡単に捨ておくわけにはまいりかねる。卒直に云って、現在の日本は、あらゆる面において、この"上げ底"式の色彩が極めて濃厚なのではなかろうか。今更ことゝ改めて申すまでもないが、民主主義的文化国家として丸腰で起ち上り、生きて来たのである。世人はあやしいものである。その文化がまたその民主主義が、お家芸の"上げ底"でなければ幸いである。思いきり底の上がったインチキな箱に詰め、ゴマ化しのレッテルをはったり「見てくれ主義」の文化国家や民主主義をおいそれと買い上げるほど世界のお客様の眼は、こぶいものでも、甘いものでもあるまい。

どうせ資源に乏しい日本であって見れば、諸事万端いまだゆたかであり得よう筈はない。然し、ただここで、我々の忘れてならないことは、あらゆる面において「上げ底」を敢はらして、底の底から、誠実に、中味を詰めることに、努めなければならぬと云う事是である。と同時に、いま一つ注意すべきことは、それが若しよいものであるならば、どれほど古いものであるものにもせよ唯単に古いものという名のもとに、簡単に捨て去るべきではないと云うことである。例えば文化の面においても、日本古来の文化のうちいゝものはどこまでもこれを温存し、これを下積とし、底積みとし、基盤として、その上に新しい文化を、着実に積み上げてゆくのでないと、つい"上げ底"式な浅薄反相なものになってしまう。終戦直後英国側代表検事として来朝したクリスマス・ハンフレーズ氏の言葉に「日本が独自の好きを忘れて意識的無意識的にドルという神様を、神棚や仏壇に祭るような時代が来なければ幸いである」と忠言して居り、又フランス政府から文化使節として日本に派遣された東洋美術の世界的権威として知られるグルッセ教授も「日本はあくまでも自分達の古い伝統を守り、それを基礎として発展させるよう努力すべきだ云々」と語られた。吾々は、ことに若い世代にとっては、まことに頂門の一針というべきではなかろうか。文化の日をまじかに迎えるに際してこの辺でもう一度、胸下照顧し「胸、実地に踏み来たれ」の言葉通り文化国民として反省して見る必要がある。とき正によし、秋灯下にしばらく世俗のスイッチをきり、生命の根源を培う読書に親しみたい。

中里村に感謝状　中里村で納税成績良好では、新村発足と同時に、村民各位の深いご理解をいただき、納税組合が設立されて以来、遂年納税成績が向上してまいりましたが、先頃、県知事より中里村の納税成績が良好だと感謝状が贈られました。

これは、郡内では中里村だけで、この栄光は、ひとえに納税義務者各位の良識と、日頃のご努力の結果とよろこんでおります。

ご承知いただいているように円満なる村政の運営は、完全なる税金の納付によらねば出来ないわけですが、一層ご理解下さいまして、今後共納期内に納入下さるよう村民各位のご協力をいただきたく、感謝状を贈られたご報告とともに、紙上からお願い申上げます。

【写真は感謝状を受ける高橋村長さん】

赤い羽根募金

今年もトップで完納

去る十月一日から恒例の"赤い羽根共同募金運動"が全国一斉におこなわれています。中里村では、村民の皆様の深いご理解と協力をいただきまして、今年もまた県下のトップを切って目標額を完納することができました。この運動がはじめられて以来十七年になりますが、毎年他にさきがけ目標額を達成してきております。昨年は、赤い羽根共同募金の村として、充実した運動の推進を讃えられ、全国表彰の栄誉に輝きましたが、みんながしあわせになるために、なるために、毎日が送られるようにたのしい、願い申上げます。

なお、今年は十月一日現在までに、十七万八百円の募金をおよいで、皆様に深く感謝申上げます。

（中里村社会福祉協議会）

保険税完納月間

10月1日～10月31日

国民健康保険法が施行されて二十五周年を迎え国の社会保障政策の一環として愈々発展しつゝありますことは誠に御同慶に堪えません。

昨年国保体質改善を打ち出し
◇給付内容の改善
◇保険税の減税
に努力をいたして参りましたが今年度より低所得者の減税、十月一日から世帯主の七割給付が実施されることになりました。

このときにあたり一層これが内容を充実強化し保険財政の安定を図るため十月一日を基点とし保険税の完納期間が設定されました。

村においても昨年度から全被保被険者に対し大割給付を実施した処ですが結果単年度実質九十一万円もの赤字を出した現状から県の監査並びに村議会から健全財政維持のため一層の努力が望ましい旨の強い要請もあり対策を検討中でありますがとりあえずこの期間を通し未納の一掃を図ることにいたしました。

現在未納になっているものはそれぞれ事情もありましょうが趣旨充分御理解下さいまして今月間中に是非完納されるように願い申上げます。（係）

役場の清滝さん法務大臣表彰さる　去る十月九日～十二日の三日間、東京都新宿区体育館において開催された全国第十六回連合戸籍事務協議会総会、第一日目の席上において当役場の戸籍係清滝満重郎主事は二十余年という長い年月、戸籍事務に専念し優良吏員として法務大臣より表彰を受けた。